

第75回 俳句を楽しむ会 「かわせみ会」 会報

- 1 開催日 2024年 9月26日 13:00～ 第4木曜日
大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ
- 2 参加人数 ・男性6名・女性2名・投句1名 計9名
- 3 今回の季語 九月(長月)の季語全般 (季語重なりがないこと!)
- 4 選句の結果 *写真をみて一句! を試行してみる。



山田池公園
"稲穂・曼殊沙華"

- ・雲未だ力感あふる残暑かな
- ・宵闇に蟋蟀初音心地良さ
- ・天高し曇建立し名は朱文字
- ・対岸も染めて真赤に曼殊沙華
- ・*新米は古米の上座客待ちす
- ・*母の字のダンボール底新米よ
- ・彼岸花高き空見て秋を知り
- ・台風の進路いずこへ肩すかし
- ☆つく坊の鳴き声終わり虫の音に
- ・秋草の摘みたき定め野良育ち
- ・待ち遠しやと来た秋朝の風
- ・*新米のこの一粒の光かな
- ・*米不足新米送るジジババや
- ・*孫笑顔顔の廻りに新米か
- ・*家族して植えて刈り上げ新米に



*写真で一句!
兼題: 新米

- 5 講評・添削 披講: 東さん
- 1) 語彙・表現良い句、見直すことでより良い表現へ
 - ・雲未だ力感あふる残暑かな
★残暑の凄さを良く表している!
- 2) 季語無・当該季外れ?!・季語重なり! + 季語色々!
 - ・彼岸花高き空見て秋を知り
※季語ダブリ
 - ・つく坊の鳴き声終わり虫の音に
※季語ダブリ
 - ・紫の露草濡れて白露かな
※季語ダブリ
 - ※形容詞の使い方に注意!
 - ・刻々と輝く月をみあげおり
- 3) 意味重なり!

選外句

- ・中秋の月を見上げて手を合わせ
- ・朝露の路古里浮かぶ赤ざくろ
- ・新世代下校の児童日傘差す
- ・差すような陽の厚さ色づく稲穂
- ・刻々と輝く月をみあげおり
- ・スズメらと黄金の朝路吾と行く
- ・散歩して木漏れ日キラリ竹の春
- ・木洩れ日の長き参道小鳥来る
- ☆紫の露草濡れて白露かな
- ・*お新香のあれば充分今年米
- ・*空櫃に新米埋む割高の

- 6 次回(#76)開催日 2024年 10月24日 13:00～(15:00) 第4木曜日
兼題: 十月(神無月)の季語全般
写真で一句 : 秋刀魚 注1) 季語の無い句や季語重なりがないこと!
歳時記を参考に! 注2) "五七五"の17音(文字)を満足すること!
大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ